

## 土砂災害警戒区域等設定支援システム（急傾斜地の崩壊編） 新バージョンリリースのお知らせ

このたび、土砂災害警戒区域等設定支援システム（急傾斜地の崩壊編）の新バージョンをリリースすることとなりました。新バージョンでは、ArcGIS Desktop のエクステンションである「3D Analyst」を使用しなくても区域設定が可能となります。（以下、新バージョン（3D Analyst 未使用版）と称す）また、新バージョン（3D Analyst 未使用版）では、これまで基本エンジンとしてきた「ArcGIS Desktop 9.3.1」には非対応となりますのでご注意ください。

新バージョン（3D Analyst 未使用版）のリリース予定：2018年7月末日

### <3D Analyst に関する注意点>

#### ■ 3D Analyst の購入について

- 2018年7月末日以降に土砂災害警戒区域等設定支援システム（急傾斜地の崩壊編）の利用を申し込む方で、3D Analyst をお持ちでない場合、新規に3D Analyst を購入しなくてもシステムを利用することができます。

#### ■ システムの利用方法

- 土砂災害警戒区域等設定支援システム（急傾斜地の崩壊編）の起動時に、3D Analyst の使用の有無を選択することになります。3D Analyst をお持ちのユーザ様は、これまで通り 3D Analyst を使用して区域設定を実行することができます。
- 利用可能な ArcGIS Desktop のバージョンは、10.2、10.2.2、10.4.1 の3種類です。9.3.1 は非対応となります。
- これまで旧バージョンの 10.2、10.2.2、10.4.1 をお持ちの方は、次回新規購入される際にそのまま旧バージョンをお使いになっても結構ですし、新バージョン（3D Analyst 未使用版）をお使いになっても結構です。

#### ■ 利用上の注意点

- 新バージョン（3D Analyst 未使用版）では、独自の TIN データを利用します。従って、過去に 3D Analyst を用いて区域設定した結果を新バージョン（3D Analyst 未使用版）で編集する際には、TIN データの再変換が必要となりますので、ご注意ください。